

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	大学院インターンシップ		
英文授業科目名	Advanced Internship		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-量子・物質工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学専攻		
担当教官名	専攻主任		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
yasui@pc.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
現場実習によって、生産と技術の実際に関心と興味を深め、将来の技術者・研究者としての心構えと抱負を養う。また、知識と実際の技術の関連、信頼性と安全性などについて体得するとともに、人的協力の必要性と、自立した技術者・研究者の在り方を考える機会とする。実習を体験して大学院教育の意義を一層理解し、卒業後の進路の指針とする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
なし

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

インターンシップは、原則として1年次の夏季休業中に行う。期間は、4週間、90時間以上とする。ただし、日数は短縮することがある。

履修のための準備。実施は概ね以下の通りに予定しているが、最終的な予定は5月上旬の掲示、および説明会で伝えるので、掲示に注意すること。

5月中旬：インターンシップ実施説明会

5月末頃：大学院インターンシップ希望票提出締切

6月下旬：履修可能学生の決定および実習先の決定

7月上旬：「大学院インターンシップ願」の提出

7月上旬：実習先企業との連絡、契約などを経て実習予定の決定

7月下旬頃から：インターンシップ実施

9月末頃：「大学院インターンシップ報告書」

「大学院インターンシップ修了書」の提出締切

### 【成績評価方法および評価基準】

「大学院インターンシップ報告書」「大学院インターンシップ修了書」に基づき、総合評価する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

随時相談に対応するが、あらかじめメールなどで連絡すること。

2004年度のインターンシップの専攻内担当は安井（東6-936室）。

なお、実習先との連絡・調整に関しては、下記の共同研究センターインターンシップ担当者の指示にも従って下さい。

共同研究センターインターンシップ推進担当：

中野 喬 客員教授、小峯名保美(事務)

居室：共同研究センター2階201,

Tel: 0424-43-5778, e-mail: intern@crc.uec.ac.jp

### 【学生へのメッセージ】

インターンシップは企業における技術者の仕事というものを知る貴重な機会であろう。ぜひこの機会を活かしてください。